

和し 鍛え 学ぶ

冬休み明け全校集会 ～校長の話～

全校の皆さん、おはようございます。少し遅いですが、新年あけましておめでとうございます。

今年の干支は「丙午（ひのえうま）」です。動物で言うと馬です。干支にまつわる話として、丙午の年は「物事が一気に動く年」「流れが速く決断や行動力が求められる年」「新しい流れや役割が生まれやすい年」「自ら動くことでチャンスをつかみやすい年」などと言われているそうです。もちろん、これは言い伝えや動物から思い浮かぶイメージの部分が大きいので、科学的な根拠があるものではないと思いますが、「自ら動くことでチャンスがつかめる」というのは干支に関わらず真実だと思います。なんとなく気持ちも新しくなる年の始めに、こうした言葉にあやかって行動を起こしてみると良い結果につながるかもしれません。2026年を新鮮な気持ちでスタートしましょう。



さて、約2週間の冬休みが終わりました。楽しい休みはあっという間に終わってしまいますね。今朝は久しぶりの早起きがつらかったという人も多かったのではないのでしょうか。しかも、6時半前に起きた人は、外がまだ暗かったと思います。一年で昼間の時間が一番短いのはいつでしょうか？皆さんも知っている通り、冬至ですね。冬至は毎年決まった日ではなく、年によって微妙に日にちが変わります。昨年は12月22日が冬至でした。毎年だいたいその頃です。

では、一年で一番日没時刻が早いのはいつでしょう？また、日の出時刻が遅いのはいつでしょう？正解は、日没時刻が早いのは12月上旬、日の出時刻が遅いのは1月上旬から半ばにかけての、ちょうど今頃です。冬至と日の出、日の入りはそれぞれ半月ぐらいズレます。理由は、地球の軸が傾いていて、太陽の周りを楕円で動いているからだそうです。詳しくは理科の先生に聞いてください。

この時期、朝は寒いうえに暗いので、朝が苦手な人にとっては嫌だなと思うかもしれません。私もそうです。が、あと2週間もすれば朝も明るくなってきて、寒い中にも日差しの力強さを感じられる日がだんだん増えてくるでしょう。そんなことを知っておくのも、寒い時期を乗り切るために役に立ってくれると思います。冬の朝の早起きがつらいなと思ったら、この話を思い出してください。「冬来たりなば 春遠からじ」厳しい寒さの後には必ず暖かい春が来ます。今が寒い冬であるということは、春がそこまで近づいているということです。

さて、3年生の皆さん。いよいよ来週から私立専修、国立、企業内学校、公立と、入試が本格的に始まってきます。万全の状態と臨めるよう、事前の準備と体調管理をしっかり行ってください。中学校生活は残り2か月です。「え？残り3か月では？」と思った人も多いのではないのでしょうか。よく考えてみると、卒業式は3月6日、加えて、2月は28日までしかないので、実質、41回の中学校生活はすでに2か月を切っています。クラスの仲間、学年の仲間、先生たちと過ごす時間を大切にしてください。

2年生は2月3日から自然教室に行きます。自然教室、3年生を送る会など、ここから大変忙しい日々になります。3年生からバトンを受け取り、後輩の手本となれるプライドある学年に成長で

きるかどうか、皆さんの力が試されます。充実した時間を学年全体で創っていきましょう。

また、1年生の皆さんも、日ごろの学校生活をもう一度丁寧^{きらめき}に送り、中学校生活への慣れが、いい加減さに結び付くのではなく、良い方向に生かされているかどうか、自分自身の足元を見つめなおしてみましょう。良い方向に生かす、とは、例えば、先が読めるようになってきたので自分たちで先を読んで行動できるようになったとか、先を考えて今やっておくべきことに取り組めるようになったとか、自分のことで精いっぱいだったのが、中学校生活に慣れて余裕ができた分、周りに気を配って困っている仲間にも手^{いりどり}を差し伸べられるようになったとか、周囲のために動けることが増えたとか、そういったことです。彩^{いろどり}学年が2年生に向けてさらに大きく成長する姿を期待します。

3年生、41回生「煌^{きらめき}学年」の皆さん、皆さんが入学してから、集会や式、行事などで、折に触れて私はいろいろなところで話をしてきました。皆さんに話をするのはあと1回だけです。それは3月6日、卒業式です。良い顔で一人一人が卒業証書を受け取り、みんなで感動的な卒業の歌を歌い、中学校生活の集大成として立派に臨む、そんな卒業式にしましょう。

それでは、全校の皆さん、2026年が皆さんにとって良い年であることを願っています。今日からまた、末中全校生徒で気持ちを新たに頑張っていきましょう。これで話を終わります。

